

理學博士 山本一清主筆

天界

(第 21 卷)

第 2 4 1 號

昭和16年七月號

本 號 要 目

口繪寫眞 大阪プラネタリウムの反射望遠鏡

巻頭隨筆 “極地探検のこと” など……………山本一清 201

日本に於ける彗星發見の年月日, 發見者及彗星名(改訂)…………… 203

火星を迎へて……………伊達英太郎 204

正 誤 表…………… 207

天經或問と江戸時代中期の天文學……………渡邊敏夫 208

新案地球自轉證明器……………竹内時男・明石研究所 213

質 疑 應 答 (1件)…………… 212

銀河星團のこと……………R・J・トラムブラ 214

人事消息・東亞天文協會表彰者一覽表…………… 216

昭和15年十一月18日紀伊南部強震調査……………椋平廣吉 217

黃道光觀測所1940年報〔紀要70〕…………… 222

東亞天文協會創立20週年紀念總會(概報)…………… 223

東亞天文協會規則・支部規約…………… 224

觀測部月報: 流星, 太陽…………… 225

各地よりのたより…………… 231

附 録

算盤から計算機へ…………… (327)

京 表 辭 狀 (岡林・本田)…………… (331)

1941年七月の天象…………… (332)

昭和 16 6 5 受付

本部: 倉敷 113

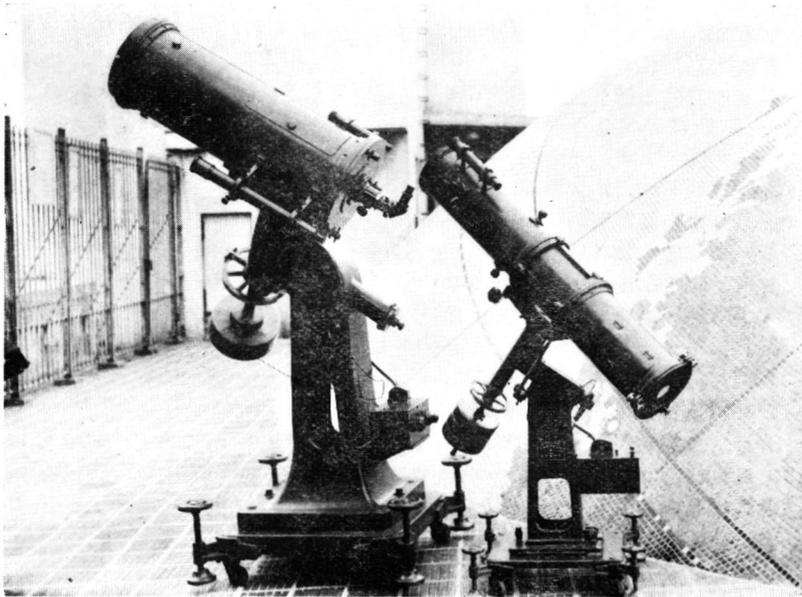
東 亞 天 文 協 會

事務局: 堅 田

火星にそなへて新機二つ

25種 カセグレン式赤道儀
及び 15種 ニュートン式赤道儀

大阪市電気科学館プラネタリウム蔵
製作—西村繁次郎氏



東亞天文協會頒布印刷物目錄

題 名	執 筆 者	定 價	送 料
○ 變 光 星 報 告 (第1號)	倉 敷 天 文 臺	1.00	14
○ 變 光 星 報 告 (14年度前半)	"	10	3
○ " (14年度後半)	"	10	3
○ " (15年度前半)	"	10	3
○ 流 星 觀 測 法	小 槇 宇 野	15	3
○ 流星群の速度決定の一方法	小 槇 孝 二 郎	10	3
○ 吉井耕一氏の撮影せる流星寫眞について	小 槇 孝 二 郎	10	3
○ 1936年六月19日の日蝕觀測假報告	山 本 一 清	10	3
○ 黄道光の光度について	下 保 茂	10	3
○ 黄道光の諸問題	山 本 一 清	10	3
○ ニ ャ ト ン の 傳	"	20	3
○ 久米榮左衛門と天文学	"	20	3
○ 印度洋航海日誌	"	20	3
○ 山と天文常識	"	50	3
○ 學 術 と 宗 教	"	10	3
○ 精密學としての天文学	"	20	3
○ 標 準 時 に 就 いて	"	10	3
○ 經 緯 度 の 天 文 學	"	10	3
○ 火星協同觀測結果報告 (15年)	伊 達 英 太 郎	20	3
○ 反射鏡の球面と拋物面との數字的差異	坂 元 左 馬 太	10	3
○ 太 陽 黑 點 觀 測 法	柴 田 淑 次	15	3
○ 天 體 宇 宙 の 話	山 本 一 清	20	3
○ 星 か げ (歌集)	錦 織 久 良 子 編	1.20	10
○ 滿洲の氣候と天上の花	水 野 千 里	30	3
○ 標 準 天 文 學	山 本 一 清	2.00	14
○ 彗 星 總 目 錄 (英文)	山 本 進		
○ 1921年のボンキネケ彗星に 附隨せる流星觀測(英文)	山 本, 中 村	20	3
○ 携帶用寫眞眼視兩用反射鏡に関する試作概況	藤 波 重 次	20	3
○ 太 陽 面 經 緯 度 圖 (8枚一組)	山 本 一 清 監 修	50	3
○ 簡 易 星 圖	"	20	3
○ 草 場 恒 星 圖 (解説書付)	"	50	15
○ 新 輯 エ ハ ガ キ (一組8枚)	"	20	3

(裏を見よ)

東亞天文協會頒布天文寫真目錄

天文寫真(第1輯) 一枚に付き金1圓40錢(送料共)。皆、非常に珍しいもので、始めて頒布されるもの、又は日本では殆んど手に入らぬものばかりです。すべて説明文つきです。

1. 土星 リク天文臺にて觀察されたもの。今回の接近の記念として絶好品。
2. ベルリの皆既日食 1937年六月8日、花山の觀測隊が撮影したもの。
3. フィンストラ彗星 1937年七月、賑やかなペルセ星座を北進する景觀。
4. 盛裝のアインスタイン博士 相對原理の創設者の見事な肖像。
5. 小マゼラン雲 近年の宇宙研究上に有名な天體で、日本では見えない珍景。
7. オリオン大星霧 白く輝く蝶ネクタイ型の大ガス星霧、一幅の大宇宙畫。
8. ヘルクレス球狀星團 望遠鏡で見得る最も最大なる宇宙の一つ。

以下 編 刊

知新觀象臺頒布天文寫真目錄

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 星の日週運動(1, 5, 7) | 13. 日の出は小さい(3, 6) |
| 2. 金星の掩蔽出現(3, 5, 6) | 14. 月食(地球の影)(2, 5, 6) |
| 3. 小遊星と蟹星霧(3, 6) | 15. ベーナード星の運動(3, 6) |
| 4. ヘルクレス座新星の光度消長(1, 5) | 16. 水星の日面通過(2, 5) |
| 5. 皆既月食の經過(3, 6) | 17. カニンガム彗星(2, 5, 6) |
| 6. 太陽黒點の生ひ立ち(3, 6) | 18. パラスケボボウロス彗星(2, 5, 6, 7) |
| 7. アンドロメダ大星霧(1, 5, 6) | 19. 十七世紀の天球圖(縮圖)(4, 7) |
| 8. 北アメリカ星雲(3, 6) | 20. 同 太陽系圖(〃)(4, 7) |
| 9. ペルテア彗星の接近(3, 6) | 21. 同圖中、日食部、日本島(〃)(4, 7) |
| 10. ダニエル彗星の再現(3, 5, 6) | 22. 四大遊星接近 |
| 11. フィンストラ彗星(5, 6, 7) | 23. メシエ第35番星 |
| 12. 日食帶食經過(8, 9) | 以下 續 刊 |

價 格 表 (送料共)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| (1) 手札又ハカピネ半截密着 13錢 | (6) 八切(四切半截)引伸 70錢 |
| (2) " " 引伸 20錢 | (7) 四切 " " 1圓30錢 |
| (3) ポスト形 密着 15錢 | (8) 八切 特殊 " " 2圓 |
| (4) カピネ形 " 20錢 | (9) 四切 " " 3圓 |
| (5) " 引伸 35錢 | |

上記のもの皆本會事務局で取り次ぎ致します。

觀 測 用 印 刷 物

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ○ 太陽黒點場告用紙 (一枚 3錢) | 瀬戸黃道光觀測所宛 |
| ○ 流星觀測用星圖(第1—6圖)(各一枚 3錢) | 流星課長 小楨孝二郎氏宛 |
| ○ 流星觀測報告用紙 (一枚 2錢) | |
| ○ 變星觀測用星圖 (一枚 10錢) | 倉敷天文臺宛 |
| ○ 變星觀測報告用紙 (一枚 2錢) | |
| ○ 黃道光觀測用星圖 (一枚 3錢) | 黃道光課長 山本一清氏宛 |
| ○ 黃道光觀測報告用紙 (一枚 3錢) | |
| ○ 木星スケチ用紙 (一枚 5錢) | 遊星面課長 伊達英太郎氏宛 |
| ○ 火星スケチ用紙 (一枚 5錢) | |
| (送料各々 5枚迄 3錢) | |

◎御注文は凡て： 滋賀縣壘田局區内 東亞天文協會事務局宛(振替口座大阪56765番)

天文寫眞 (第1輯)

説明書

- 1. 土星** 天界に於いて最も美しい姿は實に土星と其の輪である。これは故バーナード博士がリク天文臺に滞在中の一夜、口径92センチの大赤道儀望遠鏡により、其の鋭眼の視力を盡して最も精密に觀測したものであつて、現代の寫眞術では到底及ばない正確な形を現はしてゐる。土星は木星と共に、太陽系中の最大遊星の一つで、直径は地球の10倍あり、輪は更に其れに數倍する。この輪は無數の微塵星が羅列して土星のまわりを廻つてゐるものである。
- 2. ベル | 日食のコロナ** 昭和12年(1937年)六月8日、南米ベル | 國ワンチャコ村の海岸で、山本一清博士指導の下に、柴田・堀井兩理學士が撮影した皆既日食のコロナの寫眞である。カメラは焦點距離9.7メートル、露出は10秒であつた。空は殊に美しく晴れわたり、幾萬の群集は此の壯觀を西の空に滿喫したものであつた。
- 3. ファインストラ彗星** 昭和12年(1937年)の七月初め、スキスの天文家ファインストラ氏に發見された此の彗星は、近年稀に見る見事な尾を引いて、北天に現はれ、全世界の天文ファンを喜ばせた。之れは米國パロマ山上の新天文臺に於いて、口径45センチ(焦點距離90センチ)のシミト・カメラにより撮影されたもので、寫眞の右上部に彗星が大きく現はれ、又左上部の大きい星は、ベルセ座の α 星、下中部の星は同座 γ 星である。其の他の星々は詳細な星圖と比較して頂きたい。寫眞の上は西、下は東、左は北、右は南である。普通の彗星寫眞は長時間の露出を要するため、恒星が皆線になつてゐるのだが、此の寫眞は強力なシミト・カメラで短時間の露出であつたため、星は皆點像である。
- 4. アインシュタイン博士** 相對原理の創案者であるアルベルト・アインシュタイン博士は數理天文學界に於ける現代の最大巨星である。1879年(明治12年)ドイツに生れ、スキスとドイツとで研究に従事したが、今は米國プリンストン大學の特別講座を主裁してゐる。此の寫眞は近年、オクスフォード大學で名譽學位を受領し、尙ほ、ロ | ズ記念講演をした際、學位服に盛裝した姿である。
- 5. 小マゼラン星雲** 天の南極から16度の距離で、巨嘴鳥(トウカン)星座の東南隅にある此の「小マゼラン」の星雲は、それより遙か東方(旗魚(かじき)星座)にある「大マゼラン」星雲と共に、天の七不思議の一つである。天の河からは35度も離れてゐるから、全く無關係のものであるけれど、見たところは、やはり天の河の一部が千切れて飛んだかのやうに、天空に輝き、全體の廣がりは東西も南北も共に約3度以上にも及ぶが、しかし其の南西部に最も多くの星が密集し、それから北東へ微星や大小の星團が連續してゐる。この星雲は吾が太陽系から約95,000光年の距離にあつて、直径は6,000光年もあるし、又、其の中には幾十萬の恒星と共に、約800個の變星と、40餘の球状星團や星霧を含んでゐるから、優に之れは一個の小宇宙である。寫眞の東端にある大星團はトウカン座の47番と呼ぶ有名な天體である。このマゼラン星雲は臺灣よりも南方に於いて毎年秋の夕刻に見えるものである。

東亞天文協會
會員に関する報告

〔入會者〕

島田恒男(京都)	柳自相(京城)	吉田珠實(大連)
遠山潤二郎(東京)	小川美彦(東京)	青木健二(山口)
小山泰三郎(東京)	鈴木春海(東京)	土田米三郎(東京)
岩城馨(静岡)	黒柳清一(静岡)	村山定男(東京)

〔観測部入部〕

吉田珠實(大連)	遠山潤二郎(東京)	鈴木春海(東京)
小川清雄(東京)	府立化学工業(東京)	乾成美(京都)
渡木慶雄(宮崎)		

注意：御移轉の節には直ちに前住所をも併記して御通知下さい。観測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和16年分會費部費領收者芳名

會費(4圓完納)

早瀬正郎(大阪)	長谷川峰造(兵庫)	高木重子(兵庫)
松山基範(京都)	三崎善平(香川)	河原塚福司(北京)
小泉末吉(布施)	井伊秀勇(大阪)	一宮一男(宇和島)
久見良夫(東京)	船津住三郎(東京)	三島市太郎(延岡)
吉池浩暢(長野)	水野彦三(大阪)	坂上務(鹿児島)
小川清雄(東京)	東京一中天文部	府立化学工業(東京)
西岡文安(和歌山)	中島信之(福井)	大谷武(東京)
影山辰男(横濱)	乾成美(大阪)	遠山潤二郎(東京)
茂原祥三(池田)	乾久朗(神戸)	藤原博(愛媛)
小林新一郎(長野)	渡木慶雄(宮崎)	土田米三郎(東京)
大島幹造(岡山)	南條行造(鳥取)	福本秀夫(大阪)
廣井猛(三重)	山田如義(名古屋)	本井公夫(熊本)

同(一部完納)

島田音村(和歌山)	柳自相(京城)	醍醐瑛(横濱)
長谷川一郎(神戸)	大阪女學院(大阪)	鈴木春海(東京)
小川美彦(東京)	黒部清一(静岡)	青木健二(山口)
岩城馨(静岡)	岸菊夫(東京)	大阪屋號書店(京城)

観測部費完納(2圓40銭)

遠山潤二郎(東京)	鈴木春海(東京)	渡木慶雄(宮崎)
小川清雄(東京)		

(順序不同)

(領收通知に代ふ)

(16-4-30締切)

東亞天文協會

—大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名—

會長	山本一清	(京都市平野宮北町; 滋賀縣草津町; 同 上田上村)
副會長	宮森作造	小槇孝二郎
理事	宮森作造	觀測部長 木邊成麿
事務理事	中村覺	經理部長 宇野良雄
教育部長	高城武夫	事業部長 大口周作
報導部長	山本一清	理事(無任所) 美田爲三

本部所在地 倉敷天文臺 岡山縣倉敷市
 事務局所在地 滋賀縣堅田局區内
 大阪支部所在地 大阪市電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
 黃道光觀測所 廣島縣沼隈郡瀬戸村

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小槇孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 倉敷天文臺 本田 實)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 京都市東三本木信樂 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 天津市鹿麗町 堀井政三)
9. 遊星面課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代西4の52 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文ブレン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

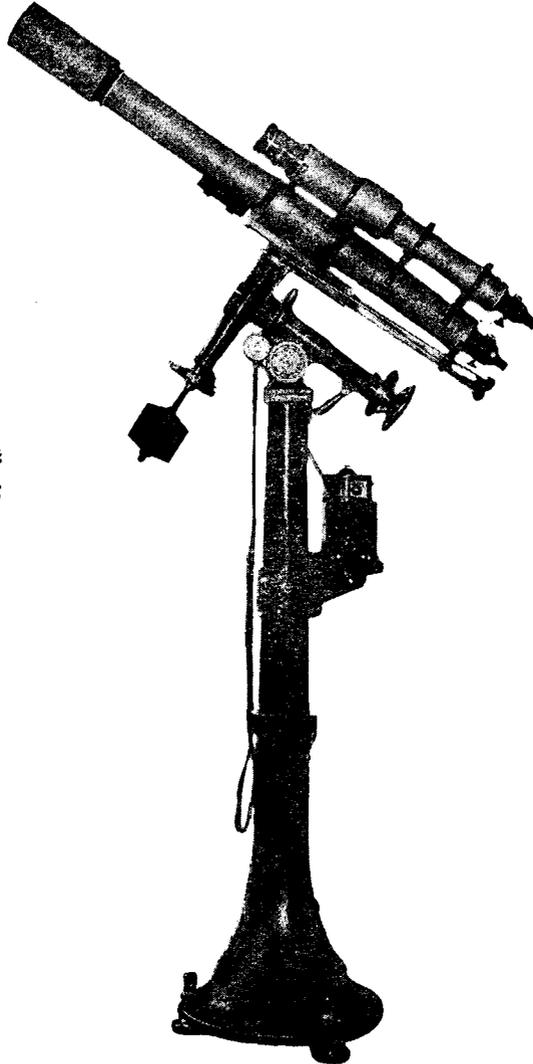
御申込みは 滋賀縣堅田局區内 東亞天文協會 (電話堅田郵便局)
 (送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第241號 昭和16年5月28日印刷 (定價金40錢) 送料金5厘
 昭和16年6月1日發行

編輯兼發行者	滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513	東亞天文協會 (代表者山本一清)
發行所	同上	同上
印刷所	京都市上京區上樅木町本東入	眞美印刷所 [電西陣3702]
印刷者	同上	橋本岩太郎
賣捌所	東京市芝區南佐久間町2ノ4	恒星社 (振替東京64738)

OTO'S
Astronomical Telescopes.

五 藤 式
天 體 望 遠 鏡



各種類畫
一 型錄進呈 一

十 糎 赤 道 儀

倍 率 三 八 一 三 七 五
附 屬 品 運 轉 時 計 ・ フ ス ト ロ カ メ ラ

コメットフアインダー其他完備

定 價 金 四 十 餘 (送 料 五 圓)

會 株 社

五

藤 光 學 研 究 所

東 京 市 世 田 谷 區 弦 卷 町 一 ノ 一 四 二
電 話 世 田 谷 三 〇 五 〇 ・ 四 六 七 四 番
振 替 口 座 東 京 七 三 二 五 五 番